

祝園弾薬庫建設強行から1周年！8月18日現地抗議行動

祝園弾薬庫建設強行から1年——8月18日、現地で平和への意思を示しましょう

私たちリブインピース☆9+25も参加する「祝園ミサイル弾薬庫問題を考える住民ネットワーク」（祝園ネット）は、陸上自衛隊祝園分屯地で進められている大型弾薬庫建設工事に対し、現地で抗議行動への参加を呼びかけています。

陸上自衛隊祝園分屯地で大型弾薬庫建設工事が着工されてから、8月18日で1年になります。



祝園ネットは、結集した2700人が弾薬庫建設の反対の強い意志を示した昨年10月の祝園現地での全国集会以降も、再三わたり住民説明会の開催を求めてきましたが、防衛省・近畿中部防衛局は住民の声に正面から向き合おうとせず、工事は既成事実のように進められてきました。

私たちが怒りを覚えるのは、大型弾薬庫建設そのものだけではありません。住民が不安に感じ、疑問を抱き、説明を求めているにもかかわらず、その声が軽く扱われ続けていることです。

6月12日、祝園ネットは近畿中部防衛局との交渉に臨みました。工事による河川への刈草投棄問題や工事看板設置の不備などについて説明を求めましたが、用意された面談時間はわずか15分でした。

地域の将来に関わる重大問題です。住民の暮らしと安全に関わる問題です。それなのに、15分で済まされる話でしょうか。

祝園ネットは祝園分屯地に長射程ミサイルを保管・配備しないよう求める9,788人分の署名も



7月26日ペンライトスタンディング（祝園ネット）

提出しました。しかし、住民説明会の開催ははまだ実現していません。私たちは、黙るわけにはいきません。「どうせ止められない」「もう工事が始まってしまった」そうさせることこそ、計画を進める側が最も望んでいることではないでしょうか。

地域の未来を決めるのは、工事を進める人たちではありません。そこに暮らす私たちです。子どもたちが安心して暮らせる地域を残したい。平和を願う声が軽く扱われる社会にいたくない。住民不在で物事が決められていく流れを止めたい。そんな思いを持つ方は、ぜひ8月18日に現地へお越しください。大きな声を出す必要はありません。静かに立つだけでもかまいません。「私は見ている」「私は黙っていない」その意思を示すことが大切です。

一人では小さな声でも、集まれば大きな力になります。祝園から、平和を守りたいという声を届けましょう。

（次ページに続く）

■ 祝園弾薬庫建設1周年！現地抗議行動

日時： 2026年8月18日（火） 午前9時～

場所： 陸上自衛隊祝園分屯地 北門前

参加： どなたでも参加できます。静かに立つだけの参加も歓迎します。

送迎： 電車で来られる方は、祝園駅西側に午前8時20分までにお集まりください。
午前8時30分に送迎車が出発します。

■ 署名活動も継続しています。

祝園分屯地に長射程ミサイルを保管・配備しないよう求めるネット署名
署名へのご協力をお願いいたします。

